

目と目が合ったその日から、 SABO Worldの扉が開きました。

研修員の皆さん、 ようこそ、SABO Worldへ！

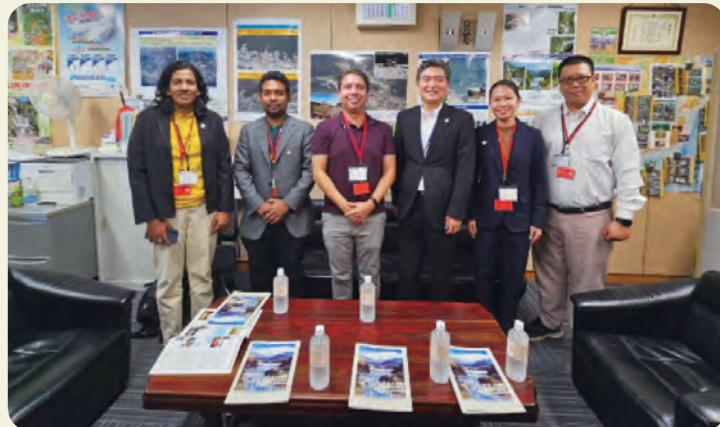
(一財)砂防・地すべり技術センター 企画部国際課

このタイトル、どういうことでしょうか？

それは、2023年6月5日から23日まで、JICA課題別研修「土砂災害リスク削減」、別名JICA Knowledge Co-creation Program “Sediment Disaster Risk Reduction”が筑波で実施され、ブラジル、フィリピン、スリランカ、東ティモールそしてベトナムから各1名の計5名が参加されました。

2021年、22年と新型コロナウイルスのため、オンラインでの遠隔教育方式での実施だったものが、ようやく来日、対面での研修が実現しました。加えて、5名という少人数のため、経験や知識レベルが異なる研修員同士が助け合い、議論しながら受講することができ、演習時には一人ひとりの進捗を講師が確認しながら指導するという、オンライン研修では困難だった、互いの目を見ながらの研修の良さを再認識しました。

研修内容は、「砂防概論」を中心とした防災政策、都市計画等、土砂災害の引き金となる降雨量の観測と警戒避難雨量の設定、イエロー、レッドゾーンの抽出、コスト・ベネフィット分析による優先順位付け、ハード対策、ソフト対策、ジオラマ模型によるワークショップ、NGOとの連携による共助の取り組み、栃木県日光市、神奈川県横浜市での現場見



国土交通省 砂防部長表敬



利根川水系鬼怒川直轄砂防事業 現地研修



神奈川県急傾斜地対策 現地研修



避難計画策定ワークショップ

学に加え、GPSの活用や最新研究のトレンド等多彩な内容を盛り込みました。その結果、研修終了時の評価会では高い評価を得ております。

その一方で、事前の防災投資促進との方針を受け、ハード対策とソフト対策の時間配分を7対3としたため、研修員からは途上国での実施の可能性がより高い、早期警報システム等のソフト対策の時間増の要望がなされました。加えて、そのためにハード対策の時間を減らすのではなく、研修期間延長による対応が望ましいとの意見が出ております。

施設見学では、霧の日光で、歴史遺産や観光業を守る一連の砂防施設と守られている東照宮を、斜面の多い横浜市では、炎天下に住宅の庭先まで迫る急傾斜地の対策工と三溪園や山下公園を見学しました。ともに現場で対応してくださった職員の方に盛んに質問を浴びせていました。

3週間の短期研修でしたが、やはり時差やネット環境に影響されるオンライン研修に比べ、集中して学べ、講師とまた研修員同士の意見交換も活発となり、効果的であることが明らかになったと思います。

2019年まで20回に及びJICA東京（幡ヶ谷）で実施、その後21年からはJICA筑波で実施してきました。日本だけでなく世界中で土砂災害が頻発する近年、熱心に取り組む研修員の姿を見ると、今後もこういった研修が継続されることを強く望む次第です。

最後になりますが、ご多忙の中、ご指導、ご説明くださった講師の皆さま、特にJICA筑波までご足労くださった皆さまには、心より感謝申し上げます。



研修を終えての集合写真

表-1 2023年度 JICA課題別研修「土砂災害リスク削減」研修カリキュラム

日付	時刻	研修内容	講師又は担当者等：氏名(敬称略)及び研修時の所属先・職位 ※オンライン実施	
6/5 (月)	9:30 ~ 14:00	オリエンテーション	STC、JICA筑波センター担当者	
	15:00 ~ 16:40	防災体験ツアー(池袋防災館)	友部 秀器	(一財)砂防・地すべり技術センター 企画部 国際課 参事
6/6 (火)	9:30 ~ 12:00	インセプションレポート発表会	綱川 浩章	国土交通省 砂防部 砂防計画課 砂防計画調整官※
			水野 秀明	九州大学 農学研究院 准教授※
	14:00 ~ 15:30	日本の防災政策	森田 耕司	(一財)砂防・地すべり技術センター 企画部 次長(研修コースリーダー)
6/7 (水)	8:30 ~ 9:00	国土交通省砂防部長表敬	藤本 真也	内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(普及啓発・連携担当)付 参事官補佐
	10:00 ~ 12:30	砂防概論	三上 幸三	国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部長
	14:00 ~ 16:00	気象予報と気象警報の仕組み 現業見学	綱川 浩章	国土交通省 砂防部 砂防計画課砂防計画調整官
6/8 (木)	10:30 ~ 12:30	まちづくりにおける防災・減災対策事例と支援施策について	長岡 岳 西村 三治	気象庁 大気海洋部 気象リスク対策課 防災係長 予報課 予報官
	14:00 ~ 15:00	JICAの防災協力	矢田 紘馬	国土交通省 都市局 都市計画課 立地適正化係長
	15:00 ~ 16:30	早期警報等災害情報の住民への周知と、警戒避難行動への意識改革	久保山 敬太	国際協力機構(JICA) 地球環境部防災グループ※
6/9 (金)	10:00 ~ 16:00	利根川水系鬼怒川直轄砂防事業	長井 隆幸	大日本コンサルタント(株) 技術統括部 技師長
6/12 (月)	10:00 ~ 17:00	警戒避難基準雨量設定	大浦 二郎	国土交通省 関東地方整備局 日光砂防事務所 事業対策官
6/13 (火)	10:00 ~ 17:00	土砂災害のおそれのある区域の抽出、ハザードマップ作成のための影響範囲	西内 卓也	(一財)砂防・地すべり技術センター 総合防災部 技術課 課長
6/14 (水)	10:00 ~ 17:00	リスク評価	西村 智博	国際航業(株) 国土保全部 海外連携担当部長
6/15 (木)	10:00 ~ 17:00	ハード対策(地すべり、がけ崩れ・落石対策)	水野 秀明	九州大学 農学研究院 准教授
6/16 (金)	13:00 ~ 17:00	警戒区域の指定(宅地造成と開発規制)、崖地対策、住民への周知、警戒避難の実務、指定箇所及び対策工事現場見学等	相楽 渉	(一財)砂防・地すべり技術センター 斜面保全部 次長
6/19 (月)	10:00 ~ 17:00	ハード対策(土石流対策)	松尾 繁	神奈川県 県土整備局 河川下水道部 砂防課 砂防・急傾斜地グループ
6/20 (火)	10:00 ~ 17:00	ハード対策(土石流対策)	池田 暁彦	(一財)砂防・地すべり技術センター 火山防災部 次長
6/21 (水)	10:00 ~ 17:00	リモートセンシング技術・空間情報処理技術の活用	近藤 玲次	(一財)砂防・地すべり技術センター 企画部 情報システム課長
			森田 真一	(株)パスコ 事業統括本部事業活性化推進室 兼 中央事業部(大阪駐在) 顧問
	13:00 ~ 15:00	土砂災害対策研究の最前線	田村 毅	国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部長
6/22 (木)	10:00 ~ 13:00	避難計画策定(含ワークショップ)	金澤 瑛	土砂災害研究室 主任研究官
	14:00 ~ 16:00	地域住民による取り組み(NGOとの協働)	田中 健貴	砂防研究室 主任研究官
6/23 (金)	10:00 ~ 14:30	研修成果レポート発表会	笠原 亮一 安井 あり沙 上島 洋	日本工営(株) 社会システム事業部、防災マネジメント部 防災ジオラマ推進ネットワーク 理事
			綱川 浩章	国土交通省 砂防部 砂防計画課 砂防計画調整官※
	15:00 ~ 16:30	評価会、閉講式	水野 秀明	九州大学 農学研究院 准教授※
			森田 耕司	(一財)砂防・地すべり技術センター 企画部 次長
			西岡 美紀	JICA筑波センター 研修業務室